別表１「評価基準」

評価項目			評価の視点	配点
業務の理解度・実施体制	1	本業務の理解度と実施方針	・本業務の目的（働き方改革、フリーアドレス化）を的確に理解し、具体的で実現性の高い実施方針が示されているか。	10
	2	実施体制・業務工程・リスク管理	・業務の実施体制（役割分担、情報セキュリティ管理）が明確であるか。 ・供用開始に向けた工程計画が緻密で、別工事との干渉など想定されるリスクへの予防策が講じられているか。 ・協力会社・再委託先等に地元業者（桑名市内に本店、支店又は営業所を有する事業者）を活用するなど、迅速な対応や地域経済への貢献に配慮した体制となっているか。	10
オフィス環境整備	3	フリーアドレス・レイアウト計画	・実際の業務動線やコミュニケーションを促す工夫（ABWの実効性、可変性の高さ）が優れているか。 ・1階消防署の緊急出動動線を妨げない配置や、市民から重要書類を守る遮蔽デザインなど、セキュリティと安全性の配慮が優れているか。	25
	4	会議室・多目的室等の環境	・人数や目的に応じたレイアウト変更の容易さや協働を両立させる什器選定がなされているか。 ・Web会議を円滑に行える機器・配線計画となっているか。	10
	5	什器の品質・運用支援	・什器の耐久性やメンテナンス性、LCC（ライフサイクルコスト）の低減が図られているか。 ・ペーパーレス・文書削減に向けた具体的な運用定着支援が提案されているか。	10
移転業務	6	備品移転・不要什器移管計画	・通常業務への影響を最小限に抑える無駄のない搬出入動線となっているか。 ・養生・安全管理・情報漏えい防止など、3拠点からの安全な移転計画が策定されているか。	10
クラウドＰＢＸ・モバイル環境	7	クラウドPBXの機能と信頼性	・庁舎内の電波死角を作らない環境調査計画や、同時通話時の品質確保（QoS）が具体的かつ実効性のある設計となっているか。 ・階層型IVRや自動録音、AI文字起こし等の機能が業務効率化に寄与するか。 ・データセンター冗長化などBCP性能が高いか。	20
	8	移行計画と教育・保守サポート	・既存番号からの無停止切り替え（フォールバック計画含む）が緻密か。 ・職員向けトレーニングや開庁前試行運用など、定着化に向けたサポートが手厚いか。 ・365日対応のヘルプデスクや故障時の代替機即時手配など、保守体制が充実しているか。	10
	9	スマートフォン・MDM管理	・MDMによるプロファイル一括配布、リモートロック等、セキュリティポリシー設定が厳格か。 ・端末の仕様や通信プランが業務に適し、紛失・盗難時の24時間対応体制が迅速か。	10
独自提案	10	提案の独自性・費用対効果	・業務効率化や快適性向上に対する独自の有効なアイデアがあり、費用対効果が高いか。	25

価格	11	初期整備費用（イニシャル費用）	50点×（全提案者中最低見積金額/当該提案者見積金額） ※小数点未満は切り捨てとする。 ※上記配点式の見積金額は様式６の「１」をもとに算定する。	50
	12	月額利用料	10点　×（全提案者中最低月額利用料/　当該提案者月額利用料） ※小数点未満は切り捨てとする。 ※上記配点式の月額利用料は様式６の「２」をもとに算定する。 ※通話料等（ユニバーサルサービス料等含む）を除く1ヶ月あたりの固定基本料金で比較算定を行う。	10
合計				200